

# 岐阜県の教職魅力化のための大学生調査（結果概要）

岐阜県教育委員会  
令和5年8月

## 1 調査目的

岐阜県教育委員会では、県内の教員養成課程を有する大学と連携し、本県の「教職の魅力化」に取り組んでおり、岐阜県の教職をより魅力ある職業に改善していくために取り組むべきことを具体化する基礎資料の一つとすることを目的としている。

※本調査は、「岐阜県型・教職魅力化に向けた取組方針」（令和4年11月15日、岐阜県教育委員会、岐阜大学、朝日大学、岐阜協立大学、岐阜女子大学、岐阜聖徳学園大学、中部学院大学、東海学院大学、岐阜県都市教育長会、岐阜県町村教育長会、岐阜県小中学校長会、岐阜県高等学校長協会、岐阜県特別支援学校長会）に記載された項目の一つ。

## 2 調査対象

県内の教員養成課程（小、中、高、特支）を有する7大学※における教育学部または教職課程を履修した大学4年生（回答率37.7%）

※岐阜大学、朝日大学、岐阜女子大学、岐阜協立大学、岐阜聖徳学園大学、中部学院大学、東海学院大学

## 3 調査時期

令和5年3月

## 4 調査方法

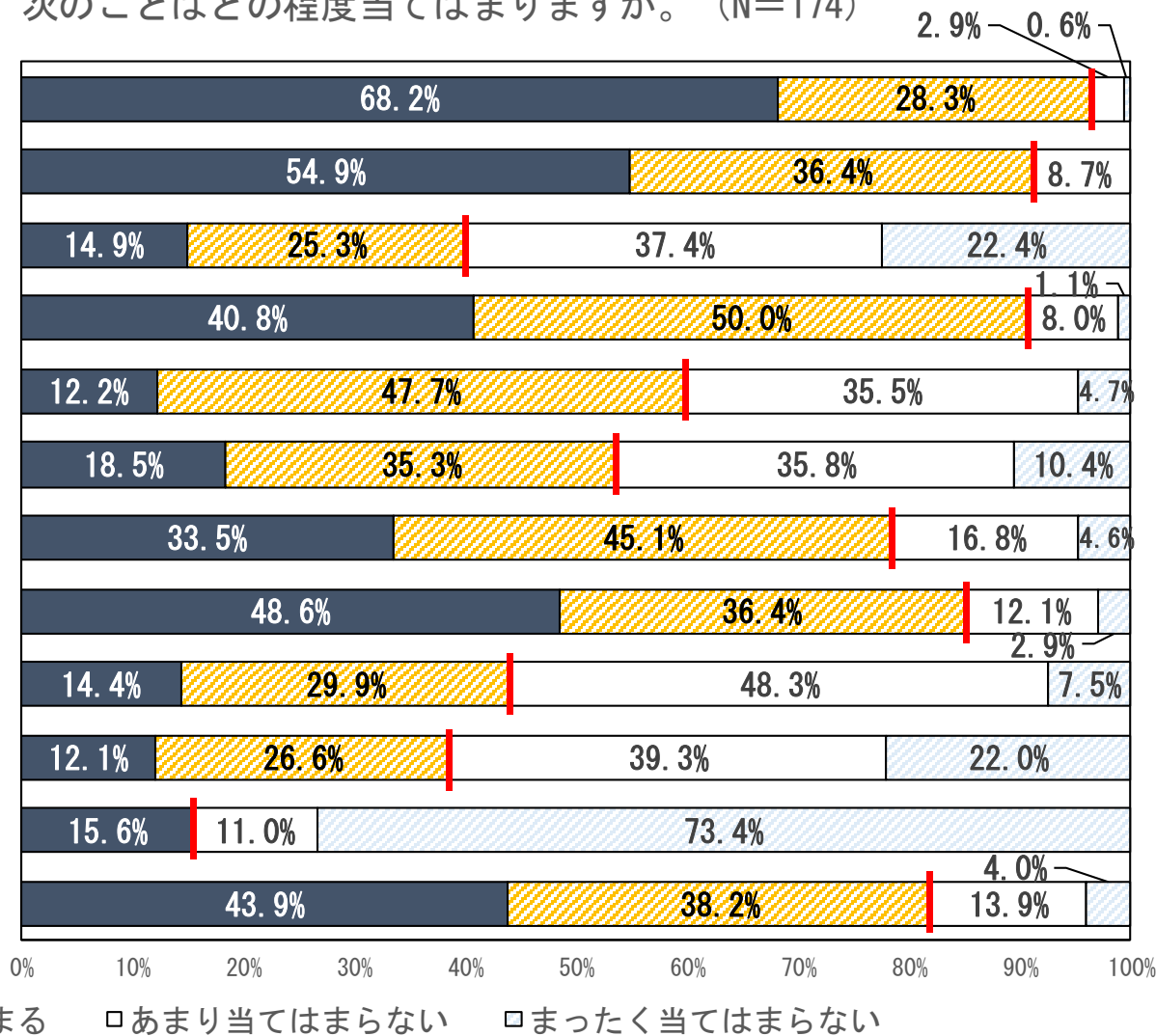
各大学から県教育委員会の回答フォームのQRコードを記載した用紙を学生に配付

# 1 学校教員となる学生への質問 「学校教員を選んだ理由」

○教職そのものが好き（①、②、⑦）や、過去の自分の経験（⑧、⑫）とする回答が多数。  
 ○仕事としての安定性も高い割合（④）。  
 （それらと比較して、給料や産育休を取りやすい環境（⑤、⑥）は、そこまで大きなファクターではない。）

学校教員の進路を選んだ理由に、次のことはどの程度当てはまりますか。（N=174）

- ★①児童や生徒と関わるのが好きだから
- ★②自分の取得する免許の教科・領域が好きだから
- ③部活動の指導がしたいから
- ★④仕事として安定しているから
- ⑤給料が良いから
- ⑥産育休を取りやすい環境があるから
- ★⑦様々な問題を抱えた児童や生徒を支えたいから
- ★⑧理想となる先生に巡り会えたから
- ⑨自分が受けた教育とは異なる教育をしたいから
- ⑩家族や友人に勧められたから
- ⑪親や親戚に学校の教員がいるから
- ★⑫教育実習で教職の魅力に触れたから



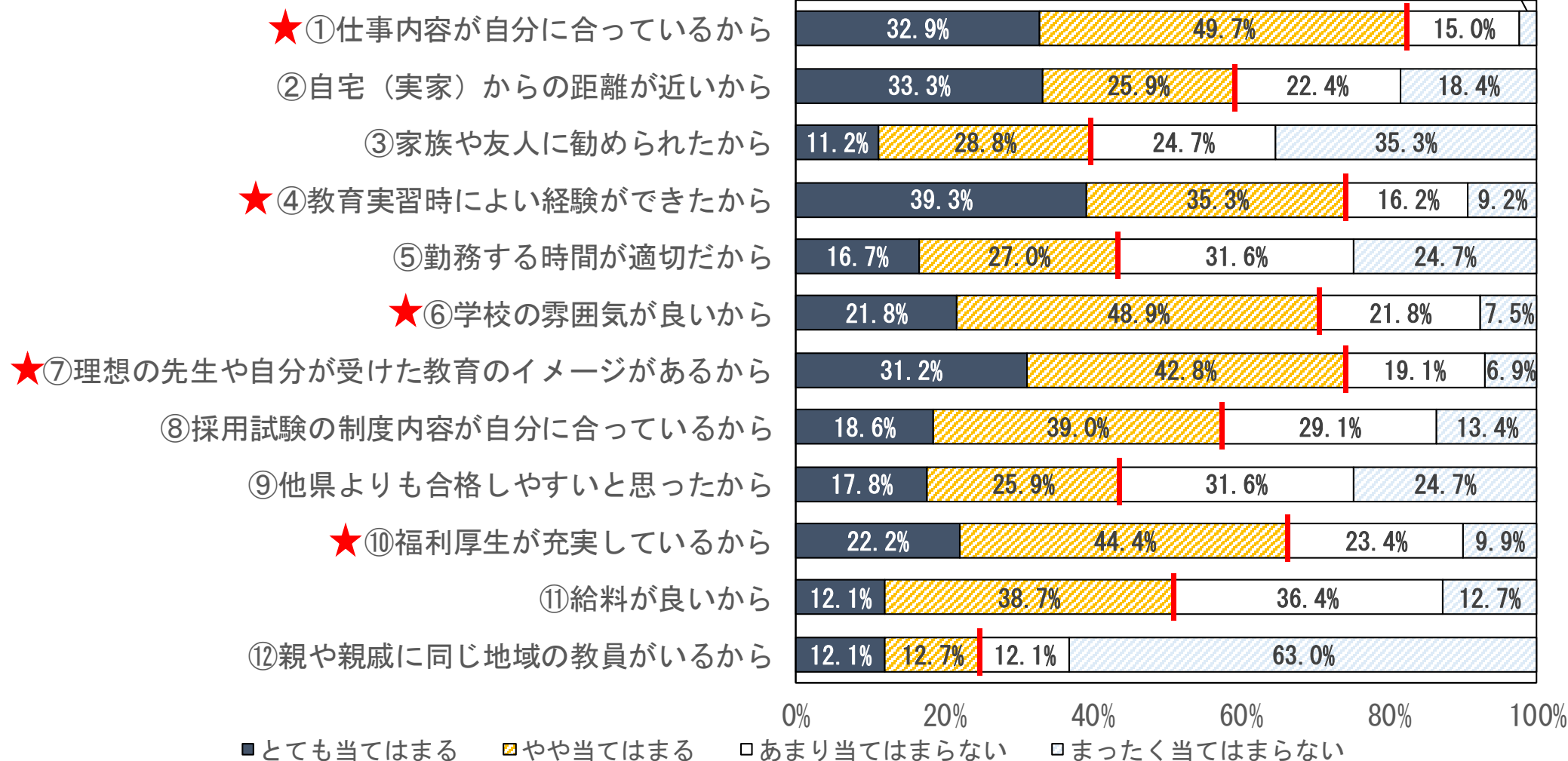
## <県の施策の方針>

○児童・生徒が教職に魅力を感じるように、学校での日々の教職員の指導を充実させる。  
 ○教育実習を充実させ、教職員が取り組む個々の業務の必要性、効果、意義も丁寧に説明するよう努める。

## 2 学校教員となる学生への質問 「働く場所を選んだ理由」

○①の他には、自分自身の体験の要素が大きい（④、⑥、⑦）。  
○一方で、福利厚生良さも一定程度考慮されている（⑩）。

働く場所を選んだ理由に、次のことはどの程度当てはまりますか。（N=174）



### <県の施策の方針>

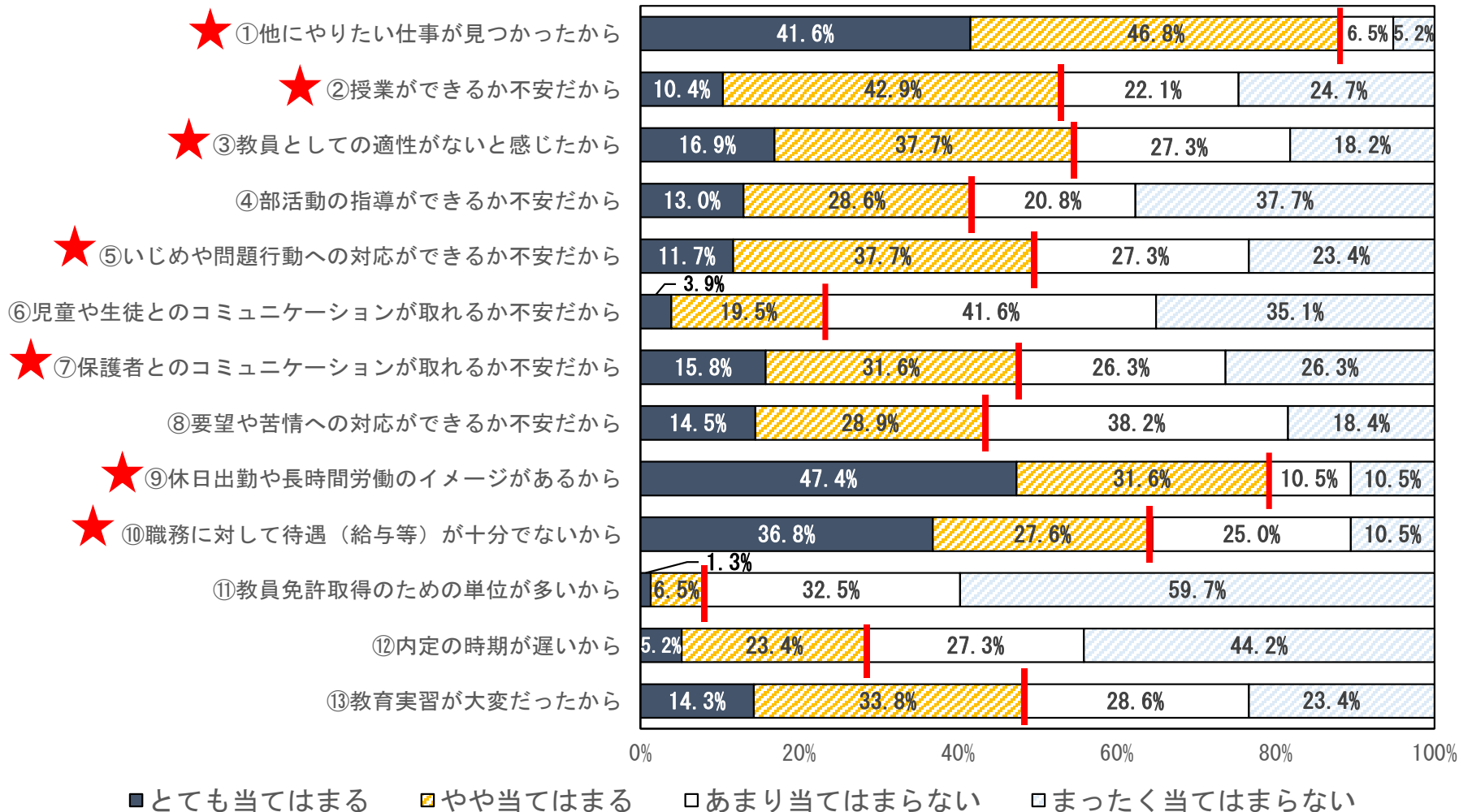
高校生を対象としたミニ教育実習や教職説明会を引き続き実施するとともに、教育実習の充実など、養成段階から大学との連携を行う。

### 3 学校教員とならなかつた学生への質問

○他にやりたい仕事が見つかった（①）が最多だが、教職に対するマイナスのイメージ（⑨、⑩）も多数。  
 ○教員に必要な様々なスキルに対する不安（②、③、⑤、⑦）も半数以上の割合を示している。

学校教員以外の進路を選んだ理由に、次のことはどの程度当てはまりますか。（N=77）

\*無回答2名を除く



#### <県の施策の方針>

○働きやすい職場づくりを進めるとともに、公務員としての待遇の良さをアピールする（⑨、⑩対策）  
 ○教員として必要なスキルを身につけ、自信を持って教壇に立つてもらえるよう、養成段階で大学とも連携するとともに、採用後のフォローを丁寧に行う（②、③、⑤、⑦対策）